

学校、所在地の変遷

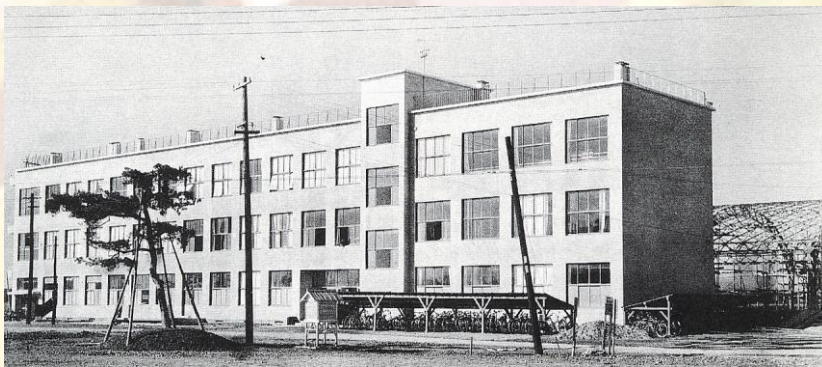
■ 東神田校舎

附属長岡中学校は、昭和22年4月11日、新潟第一師範女子部附属中学校として東神田1丁目下足軽町1192番地に開校しました。生徒は新潟第一師範学校女子部附属小学校高等科生が引き続き本校の2年生に編入され、1年生は新規募集でした。校舎はバラック建の急造校舎のほか附属小学校の教室や体育館、理科室等の特別教室と、ほとんどが附属小学校と兼用で、附属小学校との同居は昭和28年3月末まで続きました。



創立後、昭和24年5月31日、国立学校設置法の施行により、新潟大学が開学（6月1日）、新潟大学第一師範学校附属中学校となりました。次いで、昭和26年4月1日、新潟大学教育学部附属長岡中学校と名称が改められました。校舎は東神田校舎を継続使用していました。加えて、長岡市が昭和29年4月、市立東北中学校を新設し、校舎西側を附属中学校、東側を東北中学校が使用するという2校同居となり、それが昭和34年3月末までの5年間続きました。

■ 住吉校舎



昭和34年4月2日、待望の新校舎が完成し、土合町字大行寺1900番地に移転。昭和42年7月1日の地番変更により、所在地が住吉3丁目9番1号となりました。

■ 学校町校舎

昭和58年度末、現在の学校町1丁目1番1号、教育学部長岡分校地跡地に新校舎の建築が着工され、翌59年3月22日から25日にわたり生徒自身の手も借りた引っ越し作業が行われました。「学校町校舎」における教育活動がはじまり、現在に至っています。

